

☆☆☆ 生育概況 (7月19日調査) ☆☆☆

<早植コシヒカリ>

草丈：前回調査同様で前年並み(前年比100%)

茎数：那須塩原市、芳賀町、鹿沼市は前年を大きく上回ったが、その他の地域は前年並みからやや少ない(前年比97%)

葉齢：各地で止葉の抽出が始まっている。最終葉齢は昨年より多くなる見込み。

葉色：前年より葉色の低下が鈍く前年よりやや濃い(前年差+0.1)。

<早植とちぎの星>

草丈：さくら市で前年よりやや短い、その他の地点では前年並みからやや長い(前年比102%)。

茎数：真岡市、さくら市で少ないが、宇都宮、農研センターでは前年をかなり上回っている。全体的には前年より多い(前年比105%)

葉色：葉色版での葉色はさくら市、宇都宮市で淡く、真岡市、農研センターで濃い。全体的にはやや濃くなっている(前年差+0.2)

<普通植とちぎの星>

草丈：5月下旬植は前年並み(前年比102%)、6月中旬植は前年よりかなり長い(前年比114%)

茎数：5月下旬植は多く(前年比121%)6月中旬植は少ない(前年比62%)

葉齢：前年より0.4葉少なく、やや遅れている。

葉色：5月下旬植は前年より濃く(前年差+0.3)、6月中旬植は前年並み(前年差±0.0)

○気象概況

7月上旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、5日と10日は雷を伴い激しい雨の降った所がありました。宇都宮の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は少なくなりました。

7月中旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や気圧の谷、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、17日は南部で雷を伴い非常に激しい雨の降った所がありました。宇都宮の旬平均気温、旬間日照時間、旬降水量はいずれも前年並となりました。

関東甲信梅雨明け：7月18日ごろ(前年差：1日早い、昨年差：4日早い)

○生育調査結果

【早植コシヒカリ】県内10カ所

梅雨期間の降水量が少なく、水不足が懸念されます。また、鬼怒川上流4ダムの貯水量が少なく7月19日(金)より、10%の取水制限が行われています。草丈前回調査と同様で、全地点とも前年並みの長さとなっています。(前年比100%)。茎数は那須塩原市、芳賀町、鹿沼市は前年を大きく上回りましたが、県平均で401本/m²ですので、前回調査から茎数の整理が進んでいると考えられます。今年のコシヒカリについては、最高分げつ期の茎数がやや多く有効茎歩合は前年より低くなりました。葉色は前回調査から葉色の低下が少なく、前年よりやや濃くなっています。現在のところ

葉色版で3.0以下の地点はなく、SPAD値で34以下になっているのは、那須町、那須塩原市、日光市となっています。日光市、那須塩原市は出穂直前になっていることから、追肥を検討する必要があります。幼穂長から判断する出穂期を表1に表しました。今回調査で出穂期が確認できる地点は那須烏山市、小山市で、それらを含めた県全体の出穂期は7月25日で、観測史上最速だった前年の出穂期より2日遅くなっています。

表1 幼穂長から推定した出穂日(早植コシヒカリ)

調査場所	幼穂長	出穂前日数	予測出穂日	前年出穂日
那須町寺子丙	3.5	-12	7月31日	8月3日
那須塩原市一区町	19.4	-6	7月25日	7月23日
塩谷町玉生	14.3	-7	7月26日	7月23日
那須烏山市福岡	出穂	-	7月19日	7月21日
日光市木和田島	22.1	-6	7月24日	7月25日
鹿沼市久野	21.0	-6	7月25日	7月18日
宇都宮市川田町	11.2	-8	7月27日	7月23日
芳賀町東水沼	14.8	-7	7月26日	7月27日
小山市鏡	出穂	-	7月22日	7月21日
農業総合研究センター	18.6	-6	7月25日	7月21日
全量基肥平均	15.6	-7	7月25日	7月23日

幼穂長が「出穂」となっているところは出穂実測日

【早植とちぎの星】県内4カ所

早植とちぎの星の草丈は、宇都宮市で前年より長く、その他の地点では前年並みからやや長くなりました(前年比102%)。茎数は宇都宮、農研センターで前年より多くさくら市、真岡市が前年より少なくなりました。全県平均では前年よりやや多くなっています(前年比105%)。葉色はさくら市、宇都宮市で前年より淡く、真岡市、農研センターで前年より濃くなりました。全県平均では前年よりやや濃くなりました(前年差+0.2)。幼穂長から推定する出穂期は、7月28日で、前年の出穂期より1日早くなっています。

表2 幼穂長から推定した出穂日(早植とちぎの星)

調査場所	幼穂長	出穂前日数	予測出穂日	前年出穂日
さくら市狭間田	5.0	-11	7月30日	7月29日
宇都宮市下桑島町	1.6	-15	8月2日	7月31日
真岡市清水	16.8	-7	7月25日	7月31日
農業総合研究センター	11.9	-8	7月27日	7月25日
早植平均	8.8	-9	7月28日	7月29日

【普通植とちぎの星】県内2カ所

草丈は5月下旬植の草丈は前年並み(前年比102%)、6月中旬植は前年より長くなりました(前年比114%)。茎数は、5月下旬植は前年より多く(前年比126%)、6月中旬植は前年より少なくなりました(前年比62%)。葉齢はともに少なく(5月下旬植：-0.4、6月中旬植：-0.5)やや前年より遅れています。葉色は5月下旬植で前年より濃く(前年差+0.3)、6月中旬植は前年並み(前年差±0.0)となりました。

農研センター地温の推移

今年の農業総合研究センター水田の地温は前年と同じような推移を示しています(図1)。7月10日以降は、日射量が少なくなったことから、昨年より地温がやや低めに経過しました。

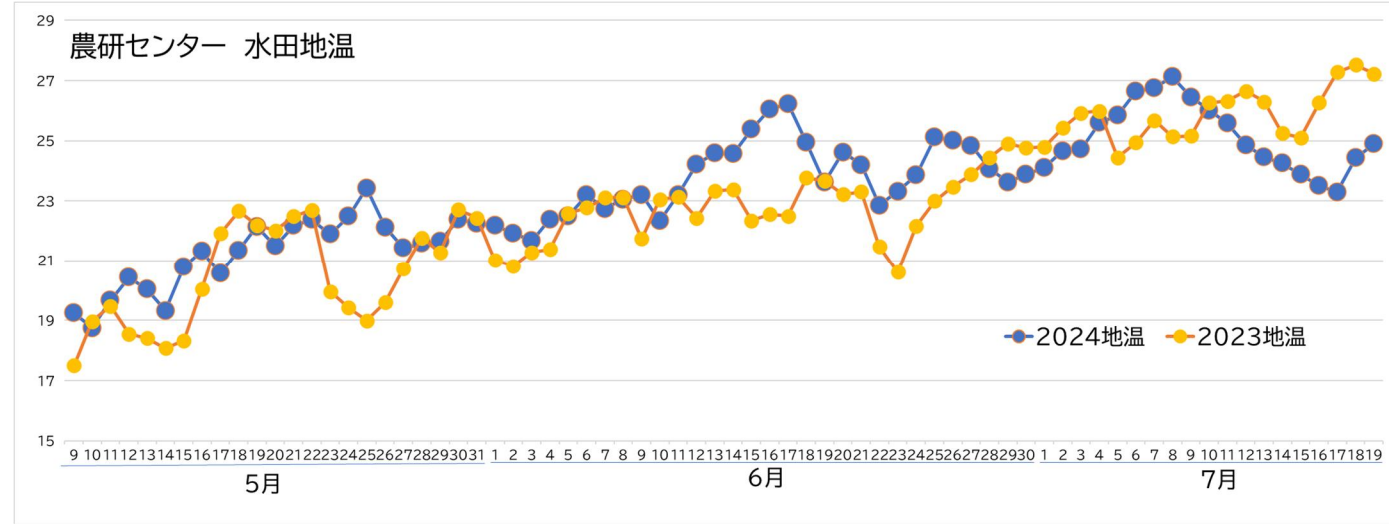


図1 農業総合研究センター水田の地温推移

前年(2023年)と今年(2024年)の気温の推移(6月以降)

2023年・2024年ともに、平均気温が高く推移しています。2023年の方が全体的に気温は高く推移していますが、日により周期的に平年を下回ることがありました。2024年は全体的には2023年より平均気温は低い傾向ですが、平年を下回る日が少なく推移しています。

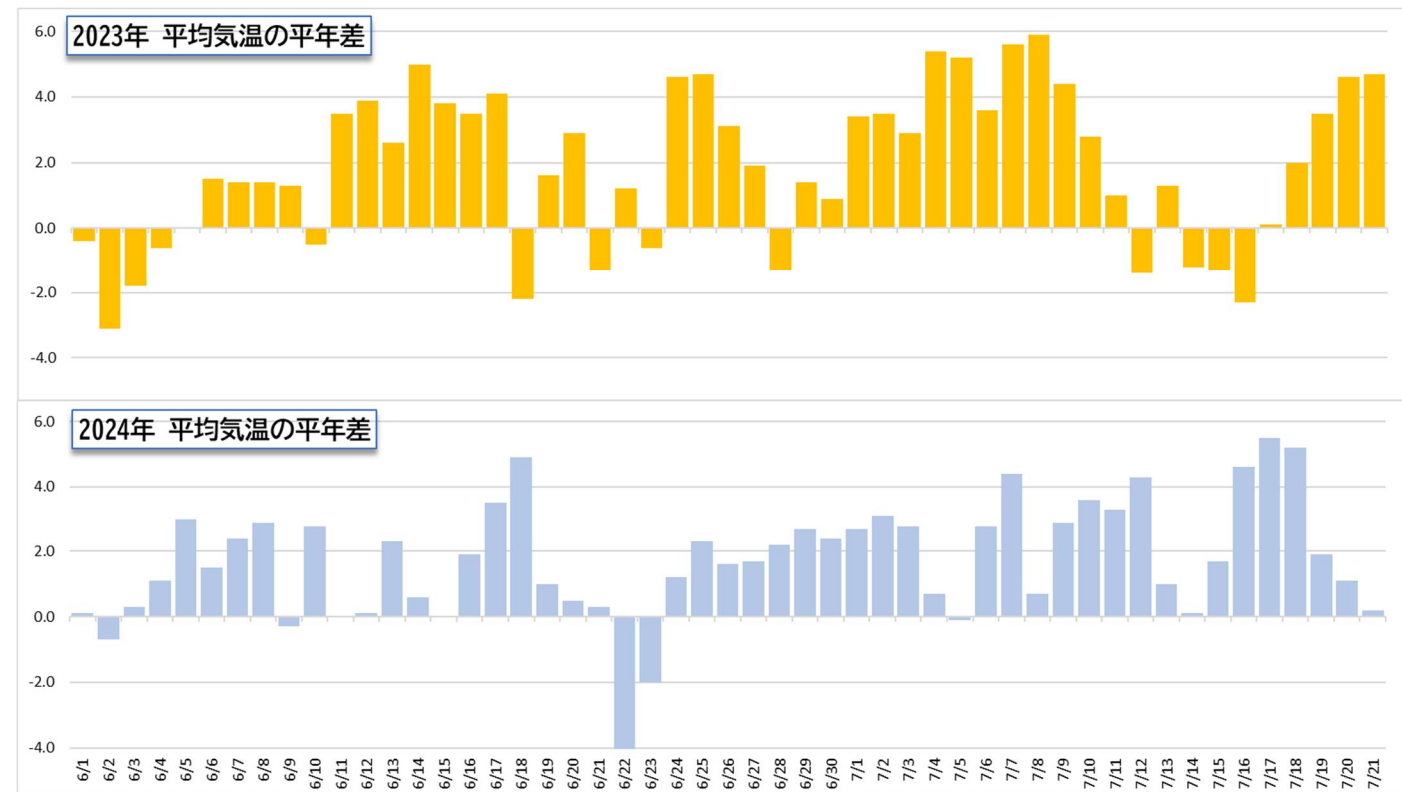


図2 前年と今年の平均気温経過の違い(平年差の推移)

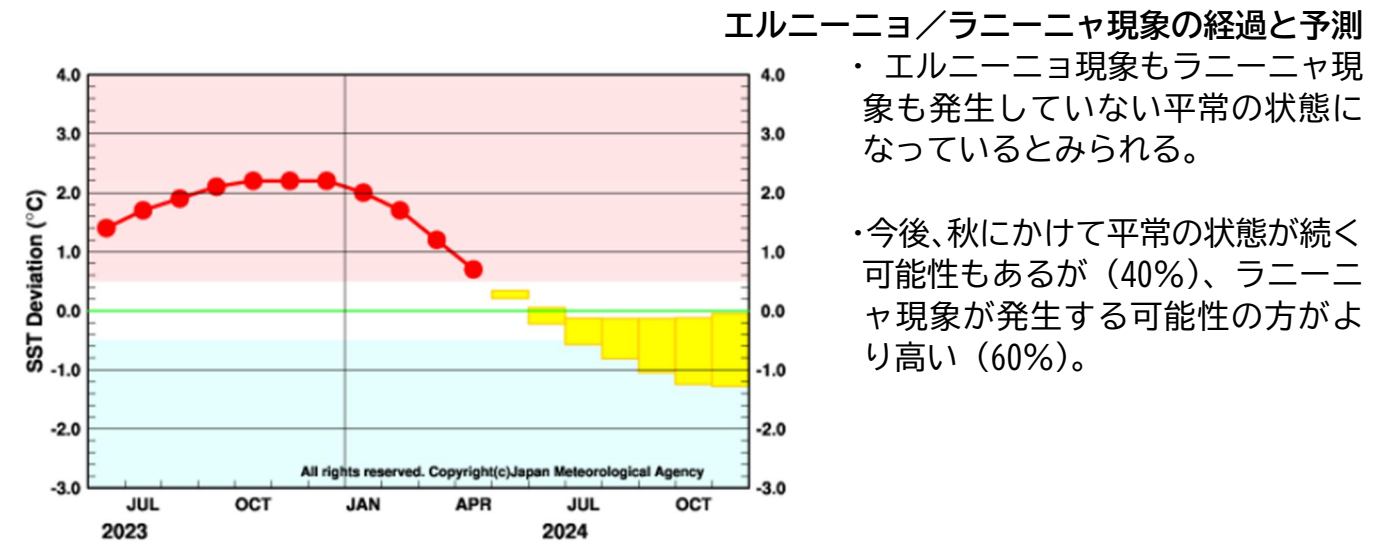
気象庁 関東甲信地方1か月予報(7月18日発表)

関東甲信地方 1か月予報 (07/20~08/19)		2024年07月18日14時30分 気象庁発表	
特に注意を要する事項		期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 07/20~08/19	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	
	気温	平均気温は、高い確率80%です。	
1週目 07/20~07/26	気温	1週目は、高い確率80%です。	
	2週目 07/27~08/02	気温	2週目は、高い確率70%です。
3~4週目 08/03~08/16		気温	3~4週目は、高い確率50%です。
気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/20~08/19	10% (低い) 10% (平年並) 80% (高い)
		1週目 07/20~07/26	10% (低い) 10% (平年並) 80% (高い)
		2週目 07/27~08/02	10% (低い) 20% (平年並) 70% (高い)
		3~4週目 08/03~08/16	20% (低い) 30% (平年並) 50% (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/20~08/19	40% (低い) 30% (平年並) 30% (高い)
		向こう1か月 07/20~08/19	30% (低い) 30% (平年並) 40% (高い)

[向こう1か月の予報]

気温：高くなる確率が80%と最も高く、特に前半(1~2週目)の気温が高くなる確率が高い。
 降水量：少ない確率が40%で最も高い。
 日照時間：多くなる確率が40%と最も高い。

気象庁 エルニーニョ監視速報(7月10日発表)



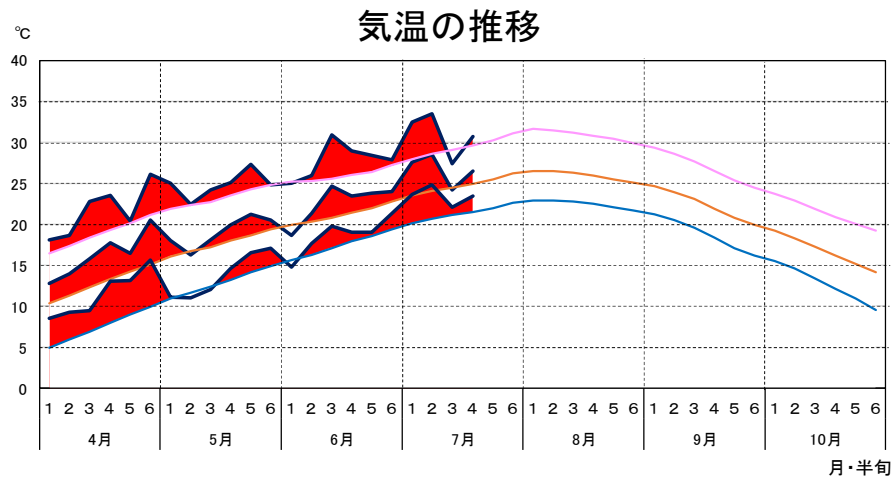
エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測

- ・エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態になっているとみられる。
- ・今後、秋にかけて平常の状態が続く可能性もあるが(40%)、ラニーニャ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。

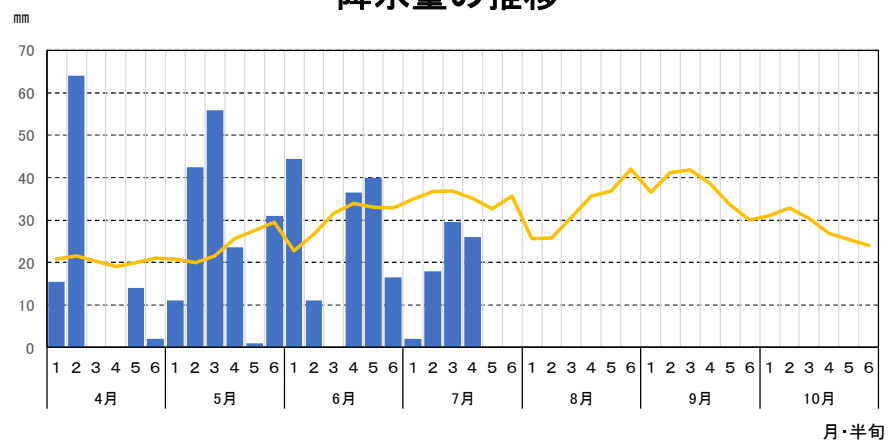
2024年 気象経過グラフ

AMeDAS地点 宇都宮アメダス

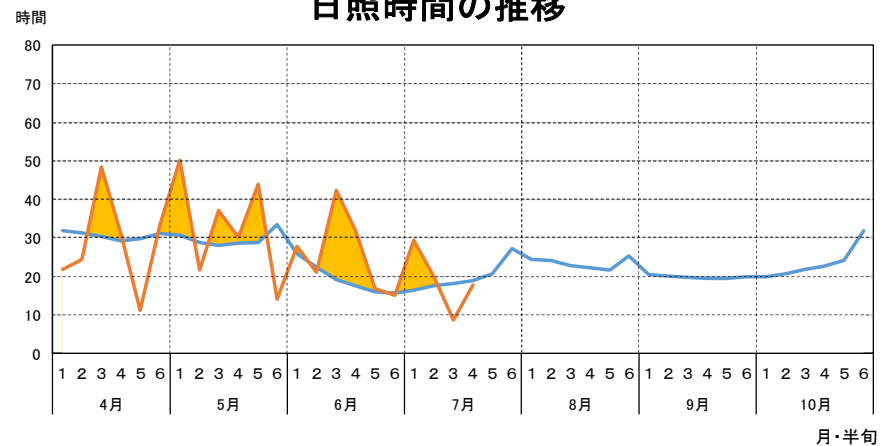
【暖候期グラフ】



降水量の推移



日照時間の推移



農政部経営技術課
自：令和6年4月1日
至：令和6年7月23日

		本年	平年	平年比/差
4月	平均気温(°C)	13.4	10.9	2.5°C
	降水量(mm)	79.5	41.3	192.5%
	日照時間(h)	46.2	64	72.2%
中旬	平均気温(°C)	16.8	12.8	4.0 °C
	降水量(mm)	0	38.1	0.0%
	日照時間(h)	79.1	58.9	134.3%
下旬	平均気温(°C)	18.5	14.6	3.9 °C
	降水量(mm)	16	42.1	38.0%
	日照時間(h)	44.5	62	71.8%

		本年	平年	平年比/差
5月上旬	平均気温(°C)	17.2	16.6	0.6°C
	降水量(mm)	53.5	39	137.2%
	日照時間(h)	71.8	58.8	122.1%
中旬	平均気温(°C)	19	17.5	1.5 °C
	降水量(mm)	79.5	45.9	173.2%
	日照時間(h)	67.2	54.5	123.3%
下旬	平均気温(°C)	20.8	19.2	1.6 °C
	降水量(mm)	32	64.3	49.8%
	日照時間(h)	58	62	93.5%

		本年	平年	平年比/差
6月上旬	平均気温(°C)	20	20.1	-0.1°C
	降水量(mm)	55.5	43.6	127.3%
	日照時間(h)	48.8	52	93.8%
中旬	平均気温(°C)	24	21.2	2.8 °C
	降水量(mm)	36.5	69.2	52.7%
	日照時間(h)	74.5	37.1	200.8%
下旬	平均気温(°C)	23.9	22.3	1.6 °C
	降水量(mm)	56.5	62.4	90.5%
	日照時間(h)	32	29.3	109.2%

		本年	平年	平年比/差
7月上旬	平均気温(°C)	28.1	23.7	4.4°C
	降水量(mm)	20	76.3	26.2%
	日照時間(h)	49.6	34.3	144.6%
中旬	平均気温(°C)	25.4	24.8	0.6 °C
	降水量(mm)	55.5	73.2	75.8%
	日照時間(h)	26.3	36.9	71.3%
下旬	平均気温(°C)	29.8	25.9	3.9 °C
	降水量(mm)	5.5	65.9	8.3%
	日照時間(h)	20.1	47.7	42.1%

農業総合研究センター 窒素含有率・窒素吸収量（生育診断ほ 7月5日調査）

○ 水稻生育診断2024 7/5 乾物重、N含有率及びN吸収量

2024/7/22

記号	事務所	品種	作期	施肥	乾物重	N含有率	N吸収量	平年値		
								乾物重	N含有率	N吸収量
					g/m ²	%	kg/10a	g/m ²	%	kg/10a
N5	農セ本場	コシヒカリ	早植	全量基肥	373	1.25	4.7	410	1.34	5.3
N3	農セ本場	コシヒカリ	早植	分施	473	1.11	5.3	442	1.31	5.7
N0	農セ本場	コシヒカリ	早植	無窒素	297	1.10	3.3			
N5	農セ本場	とちぎの星	早植	分施	543	1.38	7.5			
全量基肥	農セ本場	とちぎの星	早植	全量基肥	481	1.31	6.3			

※ 平年値は、2014~2023平均値、移植日：5月7日

本年の傾向（コシヒカリ）
全量基肥、分施ともに平年よりN含有率が小さいため、N吸収量は平年より少なくなった。

農業総合研究センター土壌環境研究室が調べた7月5日時点での窒素含有率と窒素吸収量のデータを示しました。7月5日時点での農業総合研究センターの葉色は3.3（葉色板）で、前年よりは濃かったものの、葉色の適正値からは下回っていました。窒素吸収量も平年値を下回っており稲体の窒素はやや不足傾向となったいました。今回の調査（7月19日調査）で葉色はやや濃くなったものの、現地では葉色が薄い稲が多い傾向となっています。

出穂期以降、高温環境下で葉色が淡いまま経過すると、白未熟粒が増加することが知られています。出穂前の葉色診断により基肥一発肥料でも追肥を検討しましょう。

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 水管理

現在は、幼穂伸長期から出穂期（直前）の時期です。この時期は花粉が形成され、幼穂が伸長する時期ですので、水が不足すると花粉の不稔や、穂の抽出が妨げられます。土壌表面が白く乾燥しないようにかん水を行いましょう（出穂期から開花期は特に水が不足しないように管理してください）。

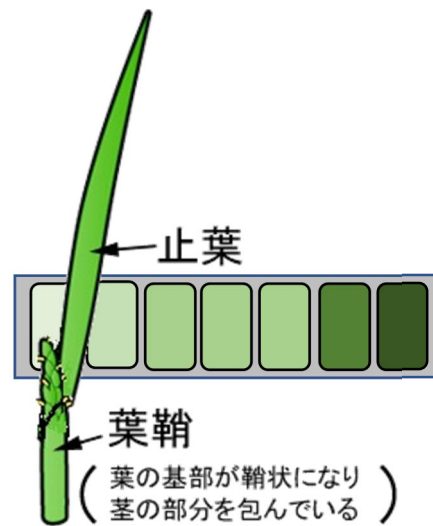
この時期の水不足は品質・収量に大きな影響を与えます。

今年は、6月の降水量が少なくダムの貯水率が不足し取水制限が実施されている水系もあります。取水制限などにより用水が十分に確保されない場合に備え、番水方法や用水の有効活用などについて地域で話し合っておきましょう。

水不足に備え、ほ場の周辺の点検を行いましょう。特に、畦畔のモグラ穴やザリガニ穴などがいないかを確認しましょう。

県南部においては、麦作に備え出穂後早めに水を切ってしまう方がおりますが、昨年同様に**出穂～登熟中期に水不足になると、水稻品質を著しく低下させますので早期落水は絶対に行わないように**しましょう。

出穂後20日間の平均気温が27℃を超える高温年の場合、夜間かん水などにより、水田の温度上昇を防止しましょう。特に穂の温度（穂温）を低く保つように工夫しましょう。



(2) 高温障害による品質低下を回避する施肥について

出穂後20日間の平均気温が27℃を超える高温年の場合、出穂期から穂揃期の葉色が薄い場合は白未熟粒が発生しやすくなります。

今年は出穂期が近づき、葉色が濃くなってきているほ場もありますが、葉色が薄いほ場が目立ちます。このような稲は籾数をささえる窒素が不足する可能性があります。品質を低下させないためにも、**出穂前5日（走り穂が出る頃）の止葉葉色がSPAD**

値で[34]以下、葉色板で3を下回っていれば速効性の窒素肥料で**2～3kg/10aの追肥**を行いましょう。昨年的高温下でも追肥を行った効果は確認されましたので実施を検討してください。穂揃い期頃までは効果がありますので、ほ場を見回り追肥の実施を検討してください。

(3) 出穂が早まっている場合の注意点

農研センターでの過去の出穂期から成熟期までの積算気温をグラフに示しました（図4）。出穂期が早くなると成熟期までの積算気温は高くなる傾向となっています。登熟期間の積算気温が高くなりますが、登熟日数は極端に変化しないことから期間中の気温が高くなる可能性があります。また、刈取適期の判断が見極めにくくなりますので、注意が必要です。

農研センターの登熟積算温度を使用し、その期間の平均気温を基に刈取適期のシミュレーションを行いました（表3）。今年は、9月に入るとすぐに収穫になることが予想されますので、早めの準備をお願いします。また、刈取適期の判断は帯緑色粉率で行うことが最も信頼できますので、時期になったらほ場をよく確認して、刈り遅れないようにしましょう。



図3 帯緑色粉率10%からの刈取開始

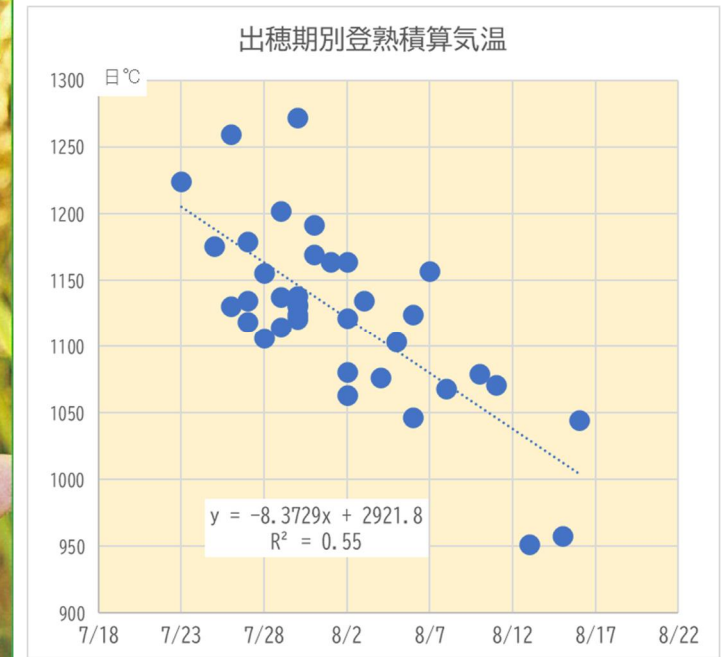


図4 農研センターにおける出穂期別登熟積算温度

表3 出穂期別刈取時期（シミュレーションによる）

出穂期	登熟積算温度 (日℃)	平均気温	登熟日数	刈取時期
7月20日	1,230	27.4	45	9月2日
7月25日	1,189	26.8	44	9月7日
7月31日	1,138	26.0	44	9月12日
8月5日	1,097	25.4	43	9月17日

(4) 病害虫の防除

今年は気温が高く推移しています。水稻の生育が早まっていますので、防除適期を逃さないよう注意しましょう。

《いもち病（葉いもち）》

令和6年(2024)年度 植物防疫ニュース (No.10) (令和6(2024)年7月12日発表) によると葉いもちの発生ほ場率は平年よりやや高く、発生株率を考慮すると全般に「平年並」の発生、としています。

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では7月15日～18日に各地で感染好適条件が出現しています（表4）。

表4 BLASTAMによる7月の葉いもちの感染好適条件の出現日数

月日	那須高原	黒磯	大田原	日光東町	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
7月1日	1	●	●	-	-	●	-	-	-	-	●
7月2日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月4日	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
7月6日	●	-	-	●	-	-	2	-	-	-	3
7月7日	4	-	-	●	-	2	-	-	-	-	3
7月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月9日	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月11日	●	-	-	-	-	2	2	-	-	3	2
7月12日	-	2	-	-	-	-	-	2	-	2	2
7月13日	-	-	-	-	●	2	-	2	-	2	2
7月14日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月15日	-	-	-	-	-	-	-	-	●	2	2
7月16日	1	●	-	-	-	●	●	●	●	2	-
7月17日	1	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●
7月18日	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月19日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月21日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月22日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月23日	-	-	-	-	?	-	-	-	-	-	-
7月24日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今年は出穂が平年より早まることが予測されているため、例年発生の多いほ場を中心に、早めに適切な防除を行きましょう。



《斑点米カメムシ》

令和6年(2024)年度 植物防疫ニュース (No.11) (令和6(2024)年7月17日発表)によると、斑点米カメムシ類の捕獲数は多い(平年比182%)としています。

気象庁発表の1か月予報では、平均気温は高いと予想されていることから、斑点米カメムシ類の増殖や活動に好適な条件が続くと考えられます。また、出穂の早い水稲ほ場では、斑点米カメムシが多いことが確認されています。

ほ場の内外をよく観察して、適期防除を行きましょう。

<<薬剤防除>>

(1) 出穂期から穂ぞろい期頃に水田内で斑点米カメムシ類が認められる場合には、液剤は出穂期7~10日後まで、粒剤は出穂期~出穂期7日後までに散布する。

(2) その後も斑点米カメムシ類が認められる場合は、7~10日間隔で1~2回追加防除する。

※ カスミカメなど小型のカメムシ類には粒剤や豆粒剤の防除効果があるが、クモヘリカメムシなど大型のカメムシ類は、粉剤や液剤で防除する(直接薬剤がかからないと薬剤の効果が十分に発揮されないため)

【イネカメムシ】

温暖化等により、県内でも確認されている大型の斑点米カメムシ類の一種です。

このカメムシは出穂直後の穂の小穂軸(枝梗)を加害するため、稲の穂が不稔になります。また、幼虫が籾の基から吸汁するため基部斑点米を発生させます。

このカメムシは、越冬場所等から水田に直接飛来するため、他の斑点米カメムシと違い、畦畔等の草刈りの効果があまり期待できません。薬剤による適期防除(ドローンなどの地上防除など)を複数回行うことが効果的です。

また、成虫から幼虫まで加害しますので防除時期が長く、他の斑点米カメムシと防除のタイミングが若干異なります。



イネカメムシ
(体長12~13mm)



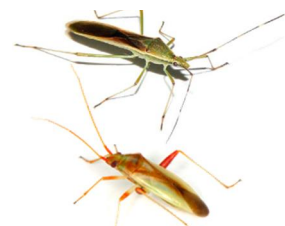
基部斑点米



小穂軸を吸汁され不稔になった水稲

【カメムシの種類による防除タイミング】

クモヘリカメムシ



1回目

(斑点米防止)

2回目

(斑点米防止)

3回目

(斑点米防止)

アカヒゲミドリカスミカメ



イネカメムシ

1回目

(不稔防止)

2回目

(斑点米防止)

3回目

(斑点米防止)



出穂期



穂揃期



乳熟初期



乳熟後期

【参考データ】

【コシヒカリ:本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数			幼穂長(cm)		
		本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)	本年	前年	差
1	那須町寺子丙	89.3	81.9	109%	20.0	21.8	92%	352	403	87%	13.0	12.9	0.1	32.2	27.3	4.9	3.4	3.3	0.1	1,195	1,343	89%	3.5	2.6	0.9
2	那須塩原市一区町	98.2	98.3	100%	26.4	22.5	117%	493	421	117%	14.2	14.1	0.1	30.6	32.0	-1.4	3.5	3.6	-0.1	1,740	1,498	116%	19.4	19.6	-0.2
3	塩谷町玉生	94.0	91.0	103%	24.7	28.1	88%	438	526	83%	12.6	12.5	0.1	36.5	32.4	4.1	3.1	3.2	-0.1	1,359	1,683	81%	14.3	22.8	-8.5
4	那須烏山市福岡	97.2	96.0	101%	19.9	21.8	91%	373	426	87%	13.1	12.7	0.4	34.7	30.8	3.9	3.4	3.1	0.3	1,270	1,320	96%	出穂	出穂	-
5	日光市木和田島	97.3	98.2	99%	16.2	21.9	74%	339	429	79%	12.4	12.1	0.3	30.7	30.8	-0.1	3.2	3.3	-0.1	1,072	1,395	77%	22.1	20.6	1.5
6	鹿沼市久野	96.5	103.1	94%	24.0	23.5	102%	381	354	108%	12.9	11.9	1.0	39.7	42.1	-2.4	3.5	3.9	-0.4	1,342	1,380	97%	21.0	出穂	-
7	宇都宮市川田町	96.5	97.1	99%	19.2	22.5	85%	358	404	89%	12.8	14.0	-1.2	34.5	28.8	5.7	3.3	3.4	-0.1	1,195	1,374	87%	11.2	19.9	-8.7
8	芳賀町東水沼	96.2	97.3	99%	22.0	16.1	137%	412	332	124%	13.6	13.6	0.0	35.5	32.0	3.5	3.3	2.8	0.5	1,351	924	146%	14.8	19.3	-4.5
9	小山市鏡	108.8	107.1	102%	24.5	25.1	98%	467	502	93%	13.0	12.8	0.2	36.9	33.9	3.0	4.0	3.2	0.8	1,848	1,629	113%	出穂	出穂	-
10	農業総合研究センター	98.9	99.7	99%	17.7	17.4	102%	394	386	102%	13.1	13.0	0.1	34.1	30.8	3.3	3.1	2.7	0.4	1,227	1,048	117%	18.6	出穂	-
平均	全量基肥平均	97.3	97.0	100%	21.5	22.1	97%	401	425	94%	13.1	13.0	0.1	34.5	32.1	2.4	3.4	3.3	0.1	1,360	1,359	100%	15.6	17.5	-1.9
分施	農業総合研究センター	99.7	97.4	102%	17.8	17.7	101%	395	394	100%	13.0	12.9	0.1	35.7	33.8	1.9	3.6	3.6	0.0	1,410	1,565	90%	19.0	出穂	-

※葉色は葉色板の数値

単位注意 (cm)

【とちぎの星:本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数			幼穂長(cm)		
		本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)	本年	前年	差
11	さくら市狭間田	84.6	86.9	97%	22.8	24.1	95%	397	430	92%	12.8	13.1	-0.3	35.7	35.2	0.5	3.4	3.9	-0.5	1,351	1,678	81%	5.0	10.1	-5.1
12	宇都宮市下桑島町	94.7	87.8	108%	24.5	20.5	120%	469	363	129%	13.5	12.4	1.1	40.5	33.3	7.2	3.8	4.2	-0.4	1,760	1,525	115%	1.6	11.2	-9.6
13	真岡市清水	90.3	88.9	102%	22	20.9	105%	414	448	92%	13.1	12.8	0.3	37.6	34.8	2.8	3.8	2.9	0.9	1,565	1,296	121%	16.8	11.9	4.9
14	農業総合研究センター	89.6	87.8	102%	20.3	18.2	112%	450	405	111%	12.8	12.6	0.2	35.5	29.0	6.5	2.9	2.2	0.7	1,308	877	149%	11.9	19.1	-7.2
平均	早植平均	89.8	87.9	102%	22.4	20.9	107%	433	412	105%	13.0	12.7	0.3	37.3	33.1	4.2	3.5	3.3	0.2	1,496	1,344	111%	8.8	13.1	-4.2

※葉色は葉色板の数値

単位注意 (cm)

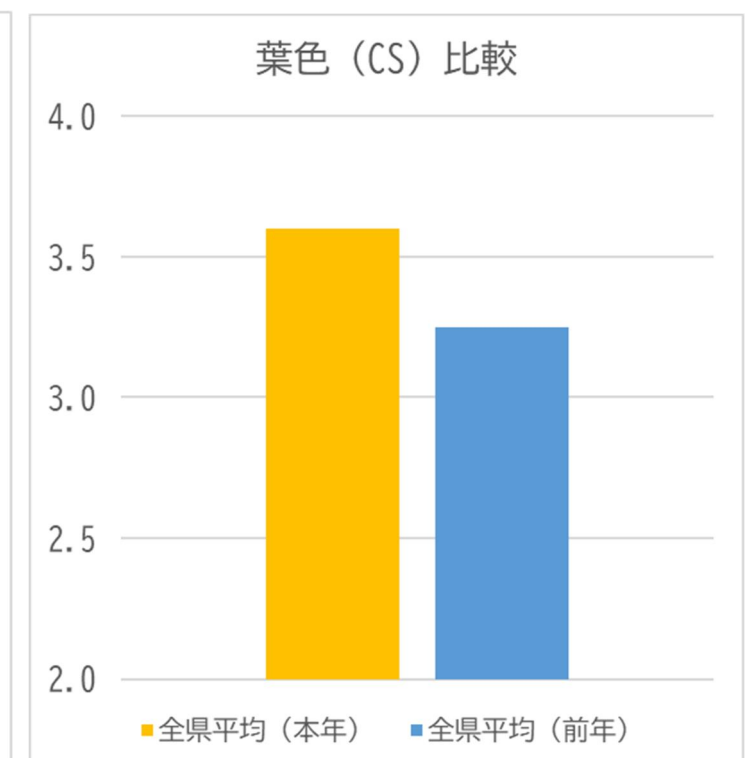
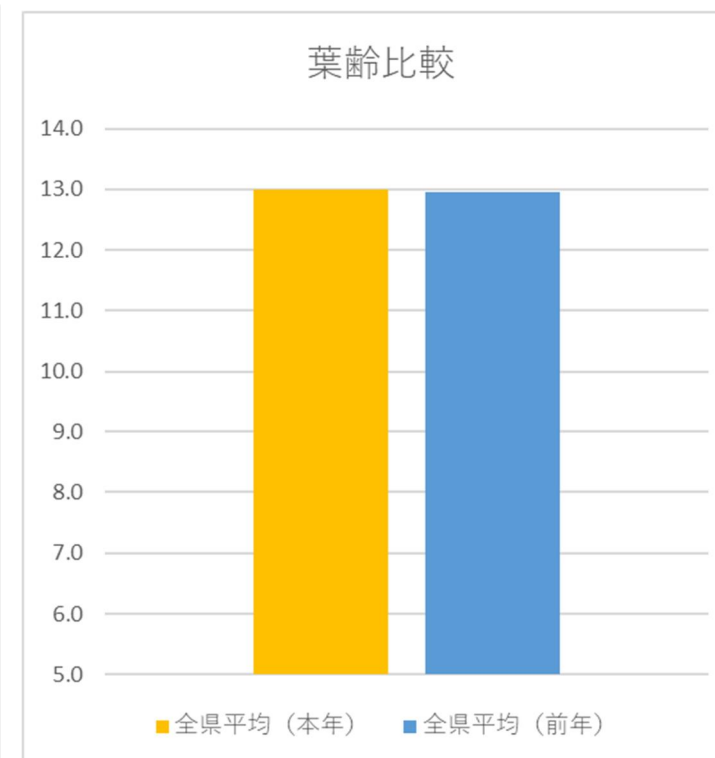
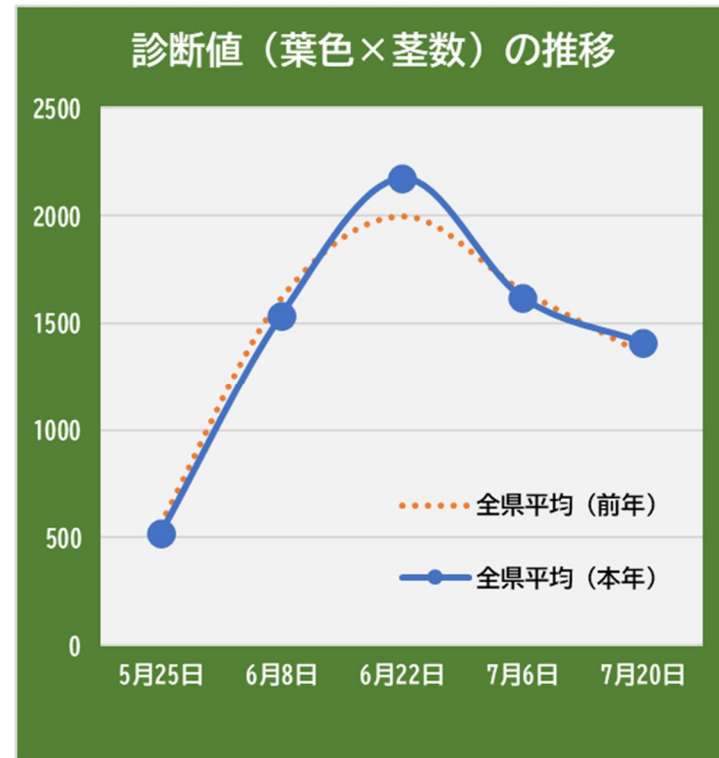
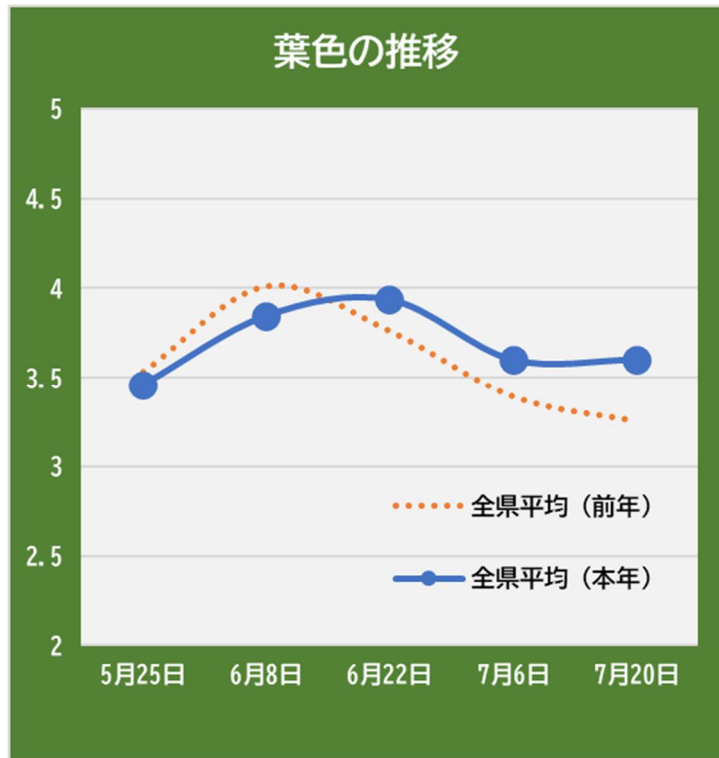
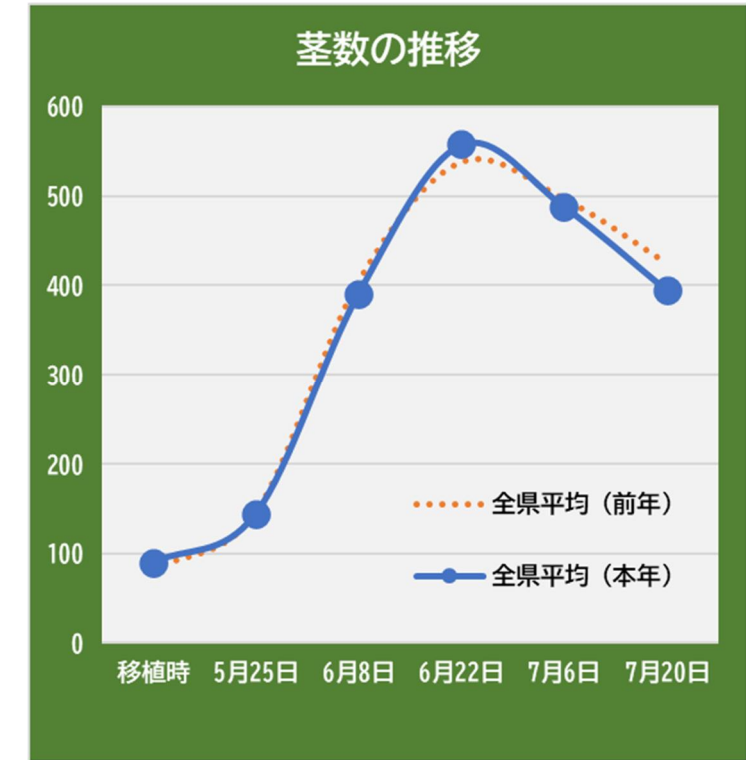
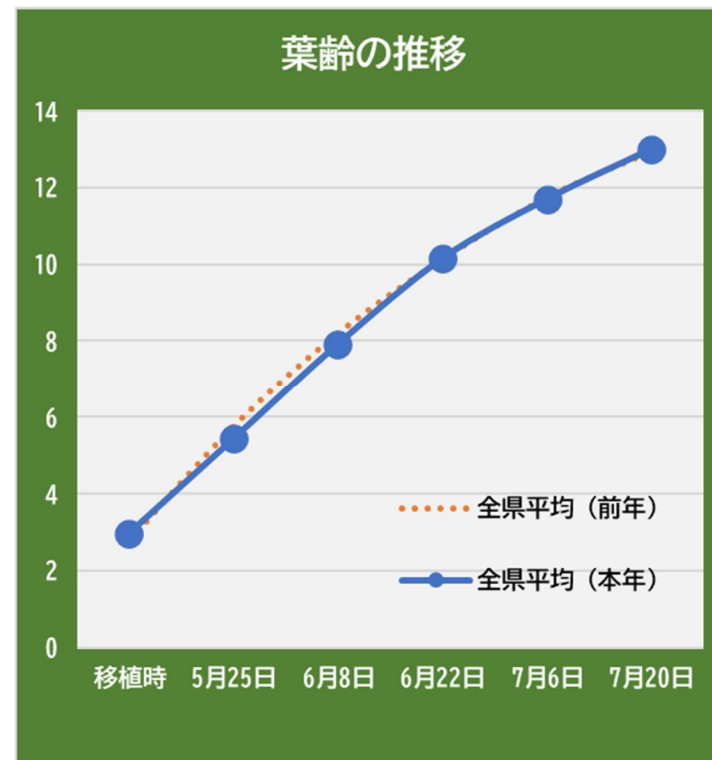
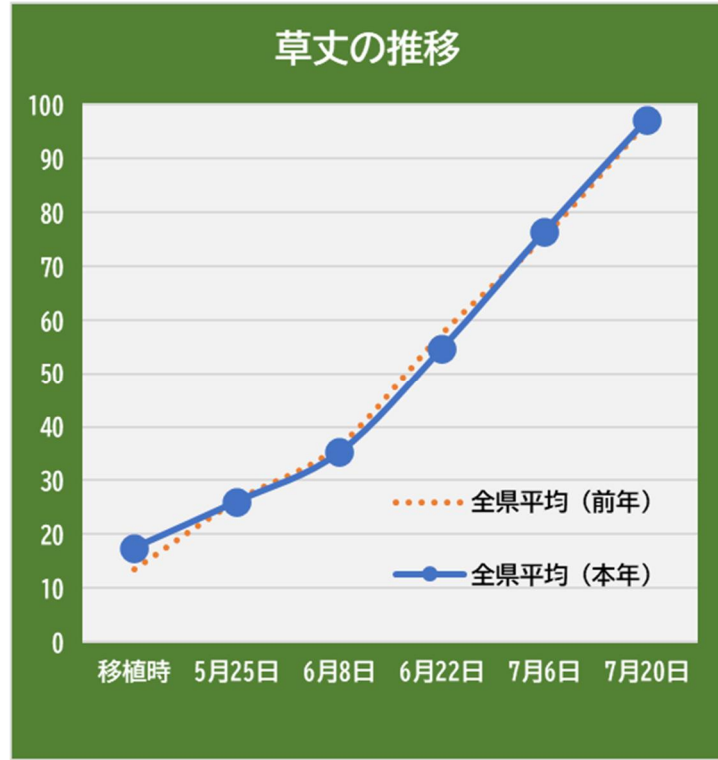
【普通植とちぎの星:本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数			幼穂長(mm)		
		本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)
○5月下旬植え																									
15	栃木市皆川	81.8	80.5	102%	29.3	23.2	126%	468	386	121%	11.3	11.7	-0.4	37.3	38.6	-1.3	3.5	3.2	0.3	1,647	1,221	135%	2.6	4.2	-1.6
○6月中旬植え																									
16	佐野市堀米町	56.0	49.1	114%	13.7	20.7	66%	247	401	62%	9.8	10.3	-0.5	44.1	41.9	2.2	4.9	4.9	0.0	1,223	1,965	62%			
平均	普通植平均	68.9	64.8	106%	21.5	22.0	98%	358	394	91%	10.6	11.0	-0.4	40.7	40.3	0.5	4.2	4.1	0.2	1,435	1,593	90%	2.6	0.2	2.4

※葉色は葉色板の数値

単位注意(mm)

2024 生育診断ほ「コシヒカリ」生育経過(7月19日)



2024 生育診断ほ「とちぎの星」生育経過(7月19日)

